

山行報告書

報告書作成

2006年5月10日

山名 [山域]	鳥海山・月山	目的と方法	山スキー
登山期間	4月29日(土) ~ 5月2日(火)	山行形態	日帰り(3)
参加人数	7名		

行動記録

4月29日(土) 曇

市民センターP(2005)==飯田IC(2150)==中条IC(150)==象潟駅(430,515)==被川P(645)

30日(日) 曇後雨

被川P(720)--避難小屋(845)--七高山(1055,1145)--避難小屋(1230,1240)--被川P(1255,1310)
==鳥海荘あっぱの湯(1340,1505)==道の駅鳥海ふらっと(1600)

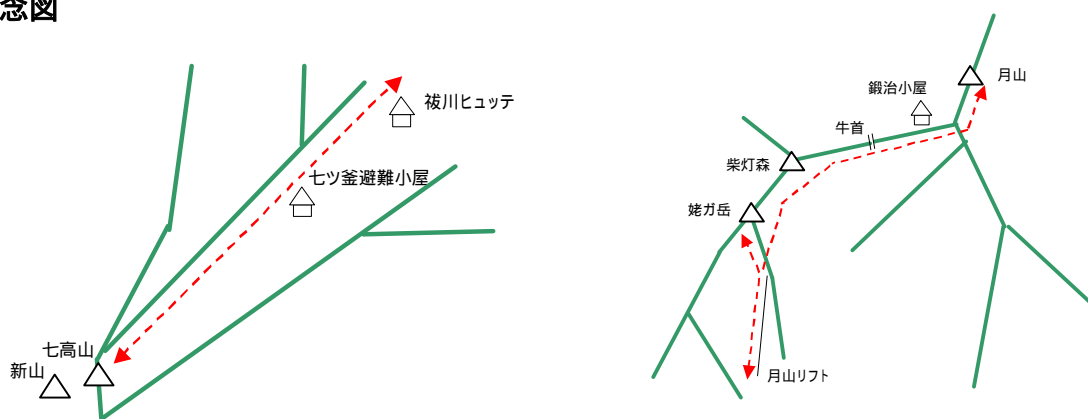
5月1日(月) 曇時々雨

道の駅鳥海ふらっと(625)==酒田港IC(630)==湯殿IC(715)==姥沢P(755,815)--リフト上部(855)
--姥ガ岳(950,955)--姥沢P(1030,1045)==終日観光

2日(火) 曇後晴後雨

月山道の駅(640)==月山P(710,750)--牛首(930,940)--避難小屋(1010,1020)--月山(1035,1100)
--月山P(1215,1240)==かたくり温泉ぼんぼ(1355,1455)==中条IC(1735)==飯田IC(2015)==市民センターP(2410)

概念図



日誌

今回の山行は、晴の神様Nさんと雨の神様Yさんの両者譲らぬ横綱相撲であったと確信している。岩津を4名で出発し、翌朝、象潟駅で先行温泉ツアー組のK夫妻と横浜からのYさんと合流する。被川の登山口まで行く間、鳥海山が良く見え、どこから見てもほぼ同じ形のきれいな山である。被川に着くころには頂上はガスで見えなくなっていた。さすが名山である。駐車場はほぼ埋まっていた。登りだすと、雨が降ったり、やんだり、嫌な天気である。七ツ釜避難小屋を越え2000m付近までは比較的緩やかな登りを曇り空の中進む。ここからはガスって先が良く見えないし、かなり急な斜面である。斜登行で七高山に着くと、新山や登ってきた道が、一瞬晴れて見え、今日は両者水入りといったところか。下りはいつものようにさんのビデオ撮影会ですべりを十分楽しむ。夜は秘密の場所で大宴会。今回、初めての食当。餃子、豚肉の鍋から最後は現調のアンコウ鍋に変わり、締めはラーメン。

翌朝は昨夕から降った雨は上がったものの、曇り空。予定の湯ノ台コースを変更し、月山へ行く。しかし、姥ガ岳で視界が極めて悪いので、下山決定。出羽神社観光、温泉入浴後、庄内空港でYさんとお別れ。今日はYさんに軍配があがる。その後、またも別の秘密の場所で大宴会。

泣いても笑っても今日が最終日。しかし、Yさんの忘れ物なのか、空の様子が……。9割方あきらめムードで、とりあえず、月山に向かう。駐車場に着くと、かすかに昨日の姥ガ岳と、その右に月山へと続く稜線らしきもの見えるではないか。今日は姥ガ岳には登らず、トラバース道で牛首まで出る。視界は良好。といっても朝日方面だけだが、でも十分過ぎるくらいのご褒美。鍛冶小屋でスキーをデポし、月山頂上へ。N様様である。これぞまさに横綱相撲。

今回の山行は天気、食、出会ったひとたち、もちろん山、すべて良かったす。